

■食育推進計画の進捗について

くらし 基本方針 1 食の楽しさや食への感謝を実感し、豊かな心を形成します

重点的な取り組み 「食を通じたコミュニケーションを実践する」

基本施策 食に興味をもち、食を楽しむ

食に対する感謝の心を身につけ、正しい食のマナーを守る

食を通して人と人をつなぐ共食への意識の向上を図る

◆指標（重点）

◎食育に関心を持つ市民の増加を目指します。

数値目標項目	第2次計画策定時 (平成21年度)	現状値 (平成27年度)	目標 (平成35年度)
食育に関心がある人の割合	67.4%	60.0%	90.0%

※出典 平成21・27年 滋賀の健康・栄養マップ

主な取り組み（担当課）	平成28年度	平成29年度
体験活動やクッキングの実施 (幼児課)	玉ねぎ・じゃがいも・さつまいも などの栽培・収穫・調理	玉ねぎ・じゃがいも・さつまいも などの栽培・収穫・調理
食育推進デーの実施 (健康増進課)	イオンスタイル草津店 11回 アルプラザ平和堂草津店 12回	同左2店舗 計24回 あおばな館 常設
たんぼのこ体験事業 (農林水産課)	農業体験学習 対象児童数 1,469人	継続実施 対象児童数 1,650人
小学校における食育の推進 (スポーツ保健課)	給食感謝デー・給食感謝週間 14校実施	継続実施 14校実施
地域協働合校推進事業 (生涯学習課)	栽培農作物：米、サツマイモ 食文化学習：8回	栽培農作物：米、サツマイモ、大 豆を含めた夏野菜や冬野菜 食文化学習：6回
食育の日の推進 (健康増進課)	広報(6/15号)での周知、 食育推進デーでの啓発 23回	広報(1/15号)での周知 食育推進デーでの啓発 24回

成果

- ・幼稚園・子ども園や小学校では、野菜を栽培し、収穫や調理を行う実践を通して、食べ物への興味や関心だけでなく、食への感謝の心やコミュニケーション力を養うことができた。
- ・野菜の摂取量増加を目的とした商業施設でのレシピ配布では、学校給食の献立を取り入れたことで、レシピを通して親子でコミュニケーションを図るきっかけとすることができた。

課題

- ・取組の多くが幼児から小中学生を対象としたものとなっており、働き盛り世代に対する働きかけが必要である。
- ・食育への関心が減少している傾向にあるため、より多くの啓発の場を利用し、継続して市民へ食育について伝えていくことが必要である。

平成30年度の取組

- ・全ライフステージに対し食育の基本となる「食べること」をより「楽しみ」につながるレシピを作成し、食育推進デーのレシピ配布店舗数の増加を目指す。

さ さえる 基本方針2 望ましい食習慣の形成と実践を促進し、

健康の維持・増進をはかります

重点的な取り組み 「バランスのとれた食事を意識し、実践する」

基本施策 食に関する知識と、自身に合った情報を選択する力を身につける

食を通じた健康づくりへの関心と理解を深め実践する

食育に関連した学習機会の提供など、食育推進運動を積極的に展開する

◆指標（重点）

◎バランスのとれた食事に気をつけている人の増加を目指します。

バランスのとれた食事に 気をつけている人の割合	現状値 (平成 27 年度)	目標 (平成 35 年度)
20 歳代男性	18.8%	36%
20 歳代女性	29.8%	64%
30 歳代男性	25.5%	44%
30 歳代女性	51.4%	67%

◎野菜の摂取量の増加を目指します。

野菜の平均摂取量	現状値 (平成 27 年度)	目標 (平成 35 年度)
20 歳以上	270.2 g	350 g

※出典 平成 21・27 年 滋賀の健康・栄養マップ

主な取り組み（担当課）	平成 28 年度	平成 29 年度
離乳食レストラン（子育て相談センター）	20 回 269 組参加	20 回 265 組参加
食育カリキュラム（幼児課）	会議開催年 6 回	会議開催年 6 回
減塩給食の実施（学校給食センター）	食塩年間平均 2.15 g	食塩年間平均 2.0 g
小中学校における食育の推進（スポーツ保健課）	20 校実施	20 校実施
家庭教育学習出前講座（生涯学習課）	10 回 294 人参加	15 回 366 人参加
食と運動のヘルスチェックデー（健康増進課）	6 回 578 人参加	4 回 522 人参加
草津歯・口からこんにちは体操（長寿いきがい課）	76 団体実施	85 団体実施
総合相談支援事業（地域保健課）	17,741 件	17,373 件
健康推進員による食育推進事業（健康増進課）	41 回 1,651 人参加	42 回 1,488 人参加
料理レシピサイト活用の食育の推進（健康増進課）	-	25 レシピ掲載

成果

- ・小学校では、毎月、学校給食献立の作成時に食塩相当量を確認することで、年間摂取量は平均 2.0g と減少しているが、残食量が増えることなく給食を通して薄味に慣れることに寄与している。
- ・料理レシピサイトによる減塩や野菜摂取の増加につながるレシピの発信、食育 SAT システムによる食事バランスの普及等、様々な手法により広く市民に対して啓発することができた。

課題

- ・野菜の摂取量の増加を目指し、料理レシピサイトの活用方法について検討する必要がある。
- ・各種イベント等で働き盛り世代に対する啓発をすすめる中で、職域等と連携した食育の推進を進めていく必要がある。

平成 30 年度の取組

- ・市内飲食店と連携した食育チャレンジ事業を実施し、健康づくりに関する環境を整備することで、無関心層へのアプローチも実施し、望ましい食習慣の実践の環を広げていく。

つなぐ 基本方針3 食文化継承や地産地消によるまちづくりと、

人に安全・自然に優しい食環境づくりを推進します

重点的な取り組み 「地場産物を認知し、利用する」

- 基本施策 伝統食や行事食の継承を推進する
 食品の安全・安心について基礎的な知識を習得する
 食環境を意識し、食品ロス削減を図る

◆指標（重点）

◎地場産物を購入するよう心掛けている人の増加を目指します。

数値目標項目	現状値 (平成27年度)	目標 (平成35年度)
地場産物を購入するよう心掛けている人の割合	50.6%	70%

※出典 平成27年 草津市のまちづくりについての市民意識調査

主な取り組み（担当課）	平成28年度	平成29年度
行事食の伝承や旬の食材を取り入れた給食の推奨 (幼児課)	6/6所(園)	6/6所(園)
食育推進デーの実施(再掲) (健康増進課)	イオンスタイル草津店 11回 アルプラザ平和堂草津店 12回	同左2店舗 計24回 あおばな館 常設
たんぼのこ体験事業(再掲) (農林水産課)	対象児童数 1,469人	対象児童数 1,650人
学校給食における地産地消の推進 (学校給食センター)	6月調査 53.1%(県内・市内産含)	6月調査 41.5%(県内・市内産含)
小中学校における食育の推進 (スポーツ保健課)	地場産物や伝統食の授業 14/20校実施	地場産物や伝統食の授業 14/20校実施
地域協働合校推進事業(再掲) (生涯学習課)	栽培農作物：2種類 食文化学習：8回	栽培農作物：3種類以上 文化学習：6回
食品表示学習会 (生活安心課)	35人参加	34人参加
エコレシピコンテストの開催 (ごみ減量推進課)	16作品	9作品
3010運動+の推進 (ごみ減量推進課・健康福祉政策課)	-	1,500人啓発
環境学習教材貸出事業 (環境課)	21件貸出	9件貸出
多文化の料理教室 (まちづくり協働課)	30人参加	24人参加
草津産環境こだわり米推進事業 (農林水産課)	11か所(307kg)	12か所(340kg)

成果

- ・草津メロン・愛彩菜・赤こんにゃくなど、学校給食で草津市産、滋賀県産農作物を積極的に利用したことで、地産地消の推進に寄与できた。
- ・市民対象のイベントで 3010 運動+の啓発を実施し、また事業所や飲食店に対しても訪問して啓発を行ったことで、食品ロス削減の意識向上につなげることができた。

課題

イベントでの啓発だけでなく、事業所や飲食店とも連携した具体的な取り組みが必要である。

平成30年度の取組

- ・商業施設のイベントと連携し、草津の野菜の周知を実施することで、地産地消の推進をはかる。
- ・食育チャレンジ事業で、3010 運動+の啓発を取り入れ、食品ロスの削減に市内飲食店と連携して取り組む。

